

◆ あとがき ◆

あの8月の猛暑から一変、急に寒くなってきたり、立冬だというのに夏日だったり私たちを取り巻く環境は急激に変化しています。多少時期はずれましたが、今年は燧ヶ岳（ひうちがたけ）で美しい紅葉を楽しみました。季節の変わり目には体調を崩しやすいとよくいいます。なぜかを説明できないので調べてみると、“急激な気候や気圧の変化に適応するためにエネルギーを消耗し、自律神経のバランスが悪くなるため”とあります。なんとなく解ったような気になるのは、適応とかバランスなどの便利な用語に、面倒な思考の遮断を委ねているからなのかもしれません。そもそも、適応を強いるような環境変化がある場合、生体はその状況をどう感知し個体システムとして反応するのかなど雑学レベルでも知りたいところです。

今月の特集は「ホメオスタシスと腎臓」です。ホメオスタシスは恒常性と訳されます。適応と同じように便利に使われますが、恒常性には、体液の恒常性など、〇〇の恒常性という各論的な意味をもたせる場合と、それらを自律神経やホルモン、免疫系などによって統括し、個体を維持するシステムとする総論的立場があります。本特集は腎臓の重要な機能の調節機構についてオムニバスの詳しく解説されていますが、それぞれが個別に進化したわけではなく、何らかのつながりを持ち個体のホメオスタシスに向けて相互的に働かなかで獲得したものと考えられます。本特集をそのような視点で読んでみて面白く思います。ご多忙のなか、読み応えのある玉稿を賜りました諸先生に厚く御礼申し上げます。

腎臓のもつ恒常性とその調節機構は適応によって偶然獲得されたもので、今後起きうる人類を取り巻くさまざまな環境の変動に対して準備されたものではありません。人類はさらに環境に揺さぶられ、弄ばれながら地味な適応を繰り返し、積み重ねて新しい調節機構を獲得していくことなのでしょう。地球温暖化で大陸が水没することになったら、水びだしの地球で人類として生存するために新しい進化を遂げた生物に生まれ変わる必要があります。だとすると、陸に上がるために分化した肺や腎臓はどう適応するのか、まさかお魚に戻るとは思いませんが、いずれにしても外的環境の変化は適応の範囲であってほしいものです。

長田道夫

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1
本郷宮田ビル 5 階 ☎ 03-3814-8541
メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-9
アド 第1長谷川ビル 2 階 ☎ 03-5776-1853 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第95巻第6号(12月号)

特集：腎移植 2023：最新の動向とトピックス

巻頭言

学生さんや患者さんたちから教えられ、
気づかされながら……………風間逸郎

最新の動向

腎移植と感染症……………高橋公太
COVID-19 感染症下での腎移植の動向……………中川由紀
腎移植患者に対する COVID-19 ワクチン……………今村亮一
抗体関連拒絶反応の診断と治療……………雫 真人, 他
ABO 血液型不適合腎移植
——新規抗体価測定法の開発——……………田崎正行, 他
腎移植患者の悪性腫瘍……………西田隼人, 他
乳幼児ドナーからの腎移植……………杉谷 篤
腎移植患者の妊娠・出産……………大木里花子, 他
腎移植患者の運動療法……………田村好史
腎移植患者の精神的サポート……………神庭瑠美子, 他
移植腎病理……………清水 章

トピックス

T 細胞エピートープと *de novo* DSA……………安次嶺 聡, 他
抗ドナー応答免疫モニタリングの実践……………谷峰直樹, 他
腎移植臨床におけるドナー由来セルフリー
DNA 解析の可能性……………平井敏二, 他
慢性拒絶反応と尿中エクソソーム……………原田 浩
FSGS 再発と抗ネフリン抗体……………服部元史
糖鎖異常 IgA1 解析と腎移植後 IgA 沈着症……………祖父江 理
腎移植患者と SGLT2 阻害薬……………柳 麻衣
腎移植患者と HIF-PH 阻害薬……………坂本和雄
イスタンブール宣言 5 学会声明……………酒井 謙

名誉主幹／酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦	
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	木村健二郎
小磯謙吉	小山哲夫	酒井聡一	坂井建雄
佐中 孜	猿田享男	塩之入洋	高市憲明
堀江重郎	細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕
山田 明			
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安藤亮一	伊藤秀一	河原克雅
川村哲也	清水 章	高橋公太	高橋 悟
長田道夫	服部元史	平和伸仁	星野純一
本田浩一	横尾 隆	竜崎崇和	

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第95巻第5号
©2023年11月25日発行
定価 3,190 円
(本体 2,900 円 + 税 10%)

編集 腎と透析編集委員会
発行所 株式会社 東京医学社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5
URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>
編集部 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115
E メール: jin@tokyo-igakusha.co.jp
販売部 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750
E メール: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2024 年前金予約購読料 1 力年 50,600 円(増刊号含む, 税込)